

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現領域(歌唱) ○発声基礎 ○校歌 ○日本の歌 ○国歌	5	・無理のない自然な声の出し方で歌う。 ・歌唱表現するための基礎的な技能を身に付け、曲想を感じ取って表現する。	・声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ・音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(歌唱・合唱) ○混声合唱導入 ○クラス合唱曲	11	音楽のまとまりを生かして、合わせて歌う。	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(器楽) ○弦楽器 ○日本の伝統楽器	12	弦楽器(撥弦楽器)の基本的な奏法を身に付ける。	・楽器の音色と奏法との関わりを理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するための身体の使い方や楽譜の読み方などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(楽器の音色と奏法との関わり)や技能(身体の使い方や楽譜の読み方など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
表現領域(創作) ○リズム創作(音楽制作アプリ・他) ○楽典	8	構成や全体のまとまりを考えながら音楽をつくる。	・リズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。 ・リズムを感じ取りながらテーマに沿った作品をつくる技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(リズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って創作する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
鑑賞領域 ○ドイツ歌曲 ○日本の伝統音楽 ○様々な合唱曲 ○弦楽合奏曲	9	楽曲の形式の違いを鑑賞する	楽曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(楽曲の形式の相違や特徴と歴史的背景との関わり)を得たり生かしたりしながら、作曲当時の歌曲の意味や形式の違いについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。